

令和3年度安浦中学校区小中一貫教育だより

(安浦中学校・安浦小学校・安登小学校)

令和3年12月23日

ふるさとを愛し、よりよい未来の創り手となる児童生徒の育成

安浦中学校区小中一貫教育推進協議会会長 山崎義之(安浦小)

安浦中学校区では、「ふるさとを愛し、よりよい未来の創り手となる児童生徒の育成」を目指し、地域の教材化や地域人材の活用等、地域に根ざした主体的な学びを推進し、地域への愛着や誇りを育てています。そして、主体的・対話的に深く学びながら、よりよい未来の創り手として必要な4つの資質・能力「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」「感謝・貢献」を育成しています。また、西日本豪雨災害を教訓に「自分の命は自分で守る」力の育成を目指し、防災教育に取り組んでいます。本中学校区の教育活動は、研究会で公開し、教育委員会や他校の先生方に見ていただき、高い評価をいただきました。より一層、児童生徒の力を育成すべく精進していきます。今後ともよろしくお願ひします。



コロナ禍で交流が難しい中ではありましたが、感染対策をとりながら次のような交流をしました。



小中合同あいさつ運動について話し合ったことが7月、9月と延期され、やっと12月に実施することが出来ました。



食育乗り入れ授業

食生活の自立ができる児童生徒の育成を目指して小中9年間を通した計画を作成しています。

食の指導では、9年生で栄養のバランスを考えた弁当を作ることができる力をつけられるよう、小学校の段階から安浦中学校の上野栄養教諭が小学校の乗り入れ授業に乗り入れています。

9年生が自分で作った弁当



安登小4年生



安浦小6年生

安浦中学校区小中一貫教育研究会を開催

10月8日(金)に、本校区3校は、「主体的・対話的に深く学びながら、思考力・判断力・表現力を高める授業づくりー『単元構成逆向き設計シート』を活用した単元づくりと学び合いを通してー」を研究テーマにした教育研究会を開催しました。

コロナ禍で、当初計画から大幅に縮減して午後のみとなりましたが、来賓をはじめ市内外から95名の教職員の参加を得て開催することが出来ました。交通案内表示等でPTAの方々にもご協力頂きました。



1年生「のりものはかせになって『はたらくのりもの』クイズ大かいをしよう」
図鑑の絵と文を関連付けて考えました。



6年生「ふるさとを元気に!~安登の幸福論~」
資料を活用することの効果について比較したり分類したりして考えました。



7年生「災害から守ろう安浦」
災害対応シミュレーションで学んだことをグループ毎に発表しました。



呉市教育委員会
寺本有伸教育長挨拶



呉市教育委員会
本谷彰弘指導主事講評



小中一貫教育推進コーディネーター
研究経過報告

<全体会>

<授業のようす>



3年生「コロナに希望を灯そう!そしてまちに花を咲かせよう」
思考ツールを使ってアンケートを整理しながら家族を励ます方法を考えました。



2年生「アトリンピックをひらこう!」
ボールゲームでの攻め方を、チームで話し合いながら選んで考えました。



9年生「災害に立ち向かう学校へ」
実験結果から分かったことを自分の意見と比較しながら交流しました。

<分科会>

生き方・ふるさと学習部会



教科部会



2部会でこれからの研究を深めるべく参加者と授業についての気づきや実践の交流をしました。

